

2022 年度事業計画 会議事項

■定時代議員総会

第13回 2022年 7月15日（金）19：00～19：30（WEB会議開催）

第14回 2022年 7月20日（水）14：00～15：00／15：30～17：00（ハイブリット開催）

■理事会

第45回 2022年 7月15日（金）17：00～18：00（WEB会議開催）

第46回 2022年 7月20日（金）15：00～15：30（ハイブリット開催）

第47回 2022年 8月26日（金）16：00～18：00（WEB会議開催）

■委員会及び小委員会・ワーキンググループ

委員長が招集し、適宜開催する。（WEB会議開催予定）

事業事項

■専門医認定医制度

認定医

心血管カテーテル治療専門医

名誉専門医

■認定施設

研修施設・研修関連施設

■研修施設群制度

基幹施設・連携施設

■コメディカル認定制度

心血管インターベンション技師（ITE）制度

■年次学術集会

第30回日本心血管インターベンション治療学会；CVIT 2022

会 長：伊 莉 裕二（東海大学医学部附属病院）

会 期：2022年 7月21日（木）～7月23日（土）

会 場：パシフィコ横浜ノース・WEB配信

事務局：大会事務局 東海大学医学部附属病院

運営事務局 株式会社メディカル東友コンベンション事業部

テーマ：カテーテルインターベンションの真価

■地方会

第52回日本心血管インターベンション治療学会北海道地方会

会長：尾崎 威文（札幌整形循環器病院）

会期：2022年 5月21日（土）

会場：WEB開催

第53回日本心血管インターベンション治療学会北海道地方会

会長：丹 通直（時計台記念病院）

会期：2022年11月 5日（土）

会場：WEB開催

第51回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会

会長：高橋 大（山形大学医学部）

会期：2022年 7月30日（土）

会場：山形国際ホテル

第52回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会

会長：大和田 尊之（日本赤十字社 福島赤十字病院）

会期：2023年 2月 4日（土）

会場：コラッセふくしま（予定）

第59回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会

会長：菅野 晃靖（横浜市立大学医学部）

会期：2022年 5月 7日（土）

会場：大手町サンケイプラザ・ハイブリッド開催

TOKYO LIVE 2022/第60回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会

会長：小川 崇之（東京慈恵会医科大学附属病院）

会期：2022年10月14日（金）・15日（土）

会場：大手町サンケイプラザ

第46回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会

会長：前川 裕一郎（浜松医科大学）

会期：2022年 5月27日（金）・28日（土）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター・ハイブリッド開催

第47回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会

会長：宮原 眞敏（三重ハートセンター）

会期：2022年10月21日（金）・22日（土）

会場：名古屋コンベンションホール・ハイブリッド開催

第39回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会

会長：角谷 誠（加古川中央市民病院）

会期：2022年10月 8日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター・ハイブリッド開催

第40回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会

会長：中野 顯（彦根市立病院）

会期：2023年 2月11日（土・祝）

会場：千里ライフサイエンスセンター

第28回日本心血管インターベンション治療学会中国四国地方会

会長：岡山 英樹（愛媛県立中央病院）

会期：2022年 9月 3日（土）・4日（日）

会場：岡山コンベンションセンター

第34回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会

会長：石川 哲憲（宮崎大学医学部）・山本 展誉（宮崎県立延岡病院）

会期：2022年 8月19日（金）・20日（土）

会場：ニューウェルシティ宮崎

第35回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会

会長：貞松 研二（大牟田市立病院）

会期：2022年12月 3日（土）

会場：久留米シティプラザ

CVIT2022教育セミナー

会期：2022年 4月 20日（水）～2023年 3月8日（水）

CVIT-TV配信、e-ラーニング配信

2022年度ITE講習会

会期：2022年 8月 1日（月）～2022年 9月 30日（金）

eラーニング配信

ITEスキルアップセミナー

eラーニング配信

機関誌

Vol. 37, issue 2, Pages 243-424 (April 2022) 7500部

Vol. 37, issue 3, Pages 425-596 (July 2022) 7500部

Vol. 37, issue 4, (October 2022)

Vol. 38, Issue 1, (January 2023)

Consensus documents

Expert Consensus Statement for Quantitative Measurement and Morphological Assessment of Optical Coherence Tomography: Update 2022

Kenichi Fujii, Takashi Kubo, Hiromasa Otake, Gaku Nakazawa, Shinjo Sonoda, Kiyoshi Hibi, Toshiro Shinke, Yoshio Kobayashi, Yuji Ikari & Takashi Akasaka

Clinical use of physiological lesion assessment using pressure guidewires: an expert consensus document of the Japanese association of cardiovascular intervention and therapeutics-update 2022

Yoshiaki Kawase, Hitoshi Matsuo, Shoichi Kuramitsu, Yasutsugu Shiono, Takashi Akasaka, Nobuhiro Tanaka, Tetsuya Amano, Ken Kozuma, Masato Nakamura, Hiroyoshi Yokoi, Yoshio Kobayashi & Yuji Ikari.

Review papers

1. CTO (technical issue) 角辻 暁 (大阪大学)
2. Renal denervation 山本 英一郎 (熊本大学)
3. Coronary artery disease and TAVI 川嶋 秀幸、渡邊 雄介 (帝京大学)
4. Coronary access and PCI after TAVI 八島 史明 (済生会宇都宮病院)
5. Antithrombotic therapy after TAVI 小張 祐介、猪原 拓、林田健太郎 (慶應義塾大学)
6. TAV in SAV / TAV in TAV 渡邊 雄介 (帝京大学)
7. Durability of TAVI bioprosthesis 大野 洋平 (東海大学)
8. TAVI and frailty 志村 徹郎、山本 真功 (岐阜ハートセンター)
9. Prosthesis patient mismatch after TAVI 宮坂 政紀 (仙台厚生病院)
10. Vascular management during TAVI 徳田 尊洋、山本 真功 (名古屋ハートセンター)
11. Chronic kidney disease and TAVI 足立 優也、山本 真功 (豊橋ハートセンター)
12. MitraClip: current status and future perspectives 片岡 明久、渡邊 雄介 (帝京大学)

13. Transcatheter left atrial appendage closure: current status and future perspectives 加賀瀬 藍、山本 真功（名古屋ハートセンター）
14. CT measurement for left atrial appendage closure 阿佐美匡彦（三井記念病院）
15. Antithrombotic therapy after left atrial appendage closure 猪原 拓、林田健太郎（慶應義塾大学）
16. acute stroke intervention 山上 宏（国立病院機構大阪医療センター）

以下、各賞の審査及び授与

■2021学会賞（CVIT2022会員総会にて表彰）

○最多ダウンロード論文賞

坂倉 建一（自治医科大学附属さいたま医療センター）

Clinical expert consensus document on rotational atherectomy from the Japanese association of cardiovascular intervention and therapeutics

鈴木 達（熊本南病院）

Role of acetylcholine spasm provocation test as a pathophysiological assessment in nonobstructive coronary artery disease

高木 健督（国立研究開発法人 国立循環器病研究センター）

名越 良治（社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会 大阪府済生会中津病院）

Efficacy of coronary imaging on bifurcation intervention

○最多被引用論文賞

藤井 健一（学校法人 関西医科大学）

Expert consensus statement for quantitative measurement and morphological assessment of optical coherence tomography

澤野 充明（東京歯科大学 市川総合病院）

Contemporary use and trends in percutaneous coronary intervention in Japan: an outline of the J-PCI registry

園田 信成（国立大学法人 佐賀大学）

Current clinical use of intravascular ultrasound imaging to guide percutaneous coronary interventions

鈴木 伸明（帝京大学医学部附属溝口病院）

浅野 拓（学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院）

Clinical expert consensus document on quantitative coronary angiography from the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics

○編集委員長特別賞

最多引用著者賞（1位）

齋藤 佑一（千葉大学医学部附属病院）

最多引用著者賞（2位）

工野 俊樹（マウントサイナイベスイスラエル病院）

■委員会

1 理事長直轄委員会

-1. Stent Save a Life小委員会

- ① Stent save a life 国際委員会の出席
- ② ACS実態調査事業をもとにACS診療の改善と将来提言
- ③ ACS診療における医療者のQOL改善と待機時間を診療報酬へ反映

-2. PFO協議会

- ① デバイストレーニングを行う。
- ② PFO術者認定を行う。
- ③ ホームページの充実、広報活動を行う。

2 総務委員会

- ① 会員状況の把握を行う。
- ② 2年間会費未納者への支払催促を徹底し、資格喪失者数の削減を行う。
- ③ 選挙制度小委員会にて、役員選挙の課題をもとに次の選挙に向けて選挙制度の見直しを図る。
- ④ 学術集会、地方会のWEB配信システムの導入を万全な体制に整える。
- ⑤ 新会員システム構築の進捗管理を行う。
- ⑥ 日本医学会加盟の申請をする。
- ⑦ 医師の働き方改革・コメディカルへのタスクシフトについて継続して検討・改革を行う。
- ⑧ ACSの緊急カテの待機時間について、令和6年診療報酬改定に組み込めるよう要望する。
- ⑨ 医療安全小委員会にて、デバイスの安全性及び医療安全の検討を行う。
- ⑩ 禁煙対策小委員会にて、禁煙推進に関する啓蒙活動を行う。
- ⑪ 医療機器開発小委員会にて、今後の医療機器開発教育に学会として協力していく。

3 財務委員会

本学会の財務体制について検討するとともに、事業計画書、収支予算案ならびに収支決算書の作成・管理を行う。

4 編集委員会

- ① 学会誌（英文）の定期発行と質の向上を行う。
- ② 「最多ダウンロード論文賞」「最多被引用論文賞」「編集委員長特別賞」の審査及び授与を行う。
- ③ IF（Impact Factor）取得のため、他誌への引用を促すための方策を検討、実施する。

5 専門医認定医制度審議会

- ① 日本専門医機構のサブスペシャリティ領域専門医制度の申請を行う。
- ② インターベンション必携の改訂を行う。
- ③ 研修施設群運用、運用規約の再検討及びe-casebookによる運用を行う。
- ④ 専門医新研修カリキュラムの運用を行う。
- ⑤ e-casebookによる専門医技能評価を実施する。
- ⑥ 専門医筆記試験問題作成、筆記試験を実施する。
- ⑦ 認定医（新規）、心血管カテーテル治療専門医（新規）申請書類の審査を行う。

- ⑧ 認定医（更新）、心血管カテーテル治療専門医（更新）、名誉専門医（移行・更新）申請書類の審査を行う。
- ⑨ 専門医制度の教育カリキュラムに基づいたe-ラーニングシステムの運用。
- ⑩ 各認定資格更新申請者のための放射線防護講習会及び医療安全・倫理講習会の運用を行う（e-ラーニングシステムの運用）。
- ⑪ ライブを伴わない研修会の認定を行う。

6 ライブ委員会

- ① SHDライブデモンストレーション単位認定の検討及びライブ指針の作成を行う。
- ② 適正なライブ運営について継続的に検討を行う。
- ③ 心血管インターベンションの教育に相応しいライブの認定について継続的に検討を行う。

7 学術委員会

- ① 国際交流：EAPCI（ヨーロッパ）、KSIC（韓国）、SCAI（アメリカ）とのジョイントセッションの次回開催について、先方窓口と情報共有
- ② 国内交流：日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会、日本心エコー図学会とのジョイントセッションの次回開催について、先方窓口と情報共有
- ③ CVIT2023プログラムの検討、特別企画の公募、選出を行う。
- ④ 日本循環器学会 JROADデータ利用研究の論文作成を進める。
- ⑤ 各分野におけるコンセンサスドキュメント作成のためのWG設立を検討
- ⑥ 奨学金制度の導入について、アカデミックサポート小委員会にて、審査過程の内規、発表方法の検討を行う。

8 レジストリー委員会

- ① 年次報告書作成、公開
- ② 文科省科研費（基盤C）：COVID流行下における冠動脈インターベンションレジストリー創設・アウトカム研究
- ③ J-PCIレジストリー、フォローアップレジストリーを発展させ、以下の知見を得ることを目的として2023年度まで研究継続
 - ・ COVID-19 パンデミック禍の急性冠症候群に対するPCIに関連する診療体系（door to balloon timeやCOVID-19 screening検査実施の実態等）を調査
 - ・ COVID-19パンデミック禍、「with COVID」状況下での新たな時代背景を考慮に入れたPCI後の長期予後、特に死亡率に影響する因子の同定、死亡率低下に資する治療体系の確立
 - ・ 調査を検証し、将来のパンデミックや災害時に必要な急性期治療を提言
- ④ 2022年3月の個人情報保護方針改正に伴う倫理的配慮則った事業運用の検討
- ⑤ 登録項目のアップデート及び仕様、定義の改定についての検討、周知
- ⑥ 長期予後調査集積データの解析、論文化
- ⑦ PMSデータとレジストリー登録項目との結合および参加施設への周知、説明（PFO協議会）
- ⑧ 2022年度 Research Proposal 公募、採択課題の解析から論文作成までのサポート
- ⑨ Registry Based RCT のプランニングと構築について継続して検討
- ⑩ 他学会と重複する治療領域についての共同解析の検討

9 保険診療・医療制度委員会

- 1. 冠動脈疾患部門
- 2. EVT、ステント部門
- 3. Structure治療部門
- 4. ASD・PF0特命委員会

- ① 手術試案医療材料見直しにおける実態調査を行う。
- ② 令和6年診療報酬改正要望に向けて厚生労働省への提出要望の作成を行う。
- ③ 5学会合同（日本透析医学会、日本透析アクセス医学会、日本IVR学会、日本血管外科学会、日本心血管インターベンション治療学会）でシャントDCB適正使用指針に則ったレジストリー運用を行う。
- ④ 4学会合同（日本IVR学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本心臓血管外科学会、日本静脈学会）で、「Indigo」と「Flow Trier」の2つのデバイスをニーズの高い医療機器として厚生労働省に申請を行う。
- ⑤ 3学会合同（日本循環器学会、日本医学放射線学会、日本心血管インターベンション治療学会）で、FFR-CTの適正使用指針の改定を行う。
- ⑥ 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する施設基準に基づき、遵守証明書の管理、企業のデバイストレーニングのプログラム作成及び管理を行う。
- ⑦ CVIT2022学術集会で「保険診療・医療制度委員会セッション」を行う。

10 コメディカル委員会

- 1. コメディカル部会
- 2. コメディカル資格制度のあり方検討ワーキンググループ
- 3. コメディカル部会ワーキンググループ

- ① ITE制度に関わる各種事業を継続する。
- ② 日本IVR学会のインターベンションエキスパートナース（INE）との連携を継続する。
- ③ ITE試験の実施、資格更新を行う。
- ④ ITEならびにINEの単位申請の審査及び認定を行う。
- ⑤ CVIT-TVにて、隔月でのコメディカル部会主催WEBセミナーの配信を継続する。
- ⑥ e-ラーニングにて「ITEスキルアップセミナー」を配信する。
- ⑦ e-ラーニングにて「ITE講習会」を配信する。
- ⑧ CVIT2022学術集会で「コメディカル委員会セッション」を行う。
- ⑨ CVIT2022学術集会で「コメディカルaward」を実施する。
- ⑩ 日本循環器学会、日本臨床工学技士会、日本臨床衛生検査技師会と共に、カテーテル室業務のタスクシフト・タスクシェアを行うことについて、検討を行う。

11 広報委員会

- ① 学会ホームページ（英文ページ含む）の追加コンテンツを検討する。
- ② 社会貢献として、急性心筋梗塞.comをさらに拡大し、国民に対し啓蒙活動を行う。
- ③ PCI実施施設の全国MAPを作成する。
- ④ CVIT2024医師の働き方改革に向けて、CVITとしての現状の課題と対策をPCIの医師の働き方

及びコメディカルのタスクシフトについてメディアを利用し、啓蒙する。

- ⑤ CVIT-TV小委員会：CVIT-TVの継続、今後の企画及び課題について検討を行う。

12 倫理委員会

- ① 必要に応じ、本学会の倫理に関する問題の審議、研究倫理審査及び利益相反に関する審議を行う。